

2022年3月期
第2四半期
決算説明資料

株式会社ヨシックスホールディングス
(証券コード：3221)

1. 会社概要	・ ・ ・ ・ 1
2. 2022年3月期 第2四半期 連結決算概要	・ ・ ・ 7
3. 今後の取り組み	・ ・ ・ 15
4. トピックス	・ ・ ・ ・ 29

会社概要

社名 株式会社ヨシックスホールディングス

設立 1985年4月1日

所在地 愛知県名古屋市東区徳川1丁目9番30号

代表者 代表取締役会長兼社長 吉岡昌成

資本金 335,989,000円 (2021年9月30日現在)

上場市場 東京証券取引所市場第一部
名古屋証券取引所市場第一部

関連会社 株式会社ヨシックスフーズ (飲食事業)
株式会社ヨシオカ建装 (建装事業)
株式会社ヨシックスキャピタル (投資事業)

店舗数 328店舗 (2021年9月30日現在)
▶ 直営 324店舗
▶ フランチャイズ (社員独立制度) 4店舗

【企業理念】

赤ちゃんからおじいちゃん、おばあちゃんまで楽しくすごせる
心・食・居を演出する

心・・・「心温まる」存在感を持つ企業
食・・・「元気」をお持ち帰りいただける企業
居・・・「居心地」の良さを提供、創造できる企業

【社是】

あたりまえやを当り前に

- ・元気な声だし
- ・清潔感
- ・笑顔の接客

【や台やグループ基本理念】

元気を持って帰ってもらう店なんやで

や台やグループは飲食業を通じて、社会における存在意識を常に考えています

- 直営店を中心に、**328**店舗の居酒屋を**関東以西**に展開

や台ずし：272店舗（のれん分店3店舗含む）



本格職人
にぎりずし居酒屋



ニパチ（にぱち含む）：43店舗



280円均一
低価格居酒屋

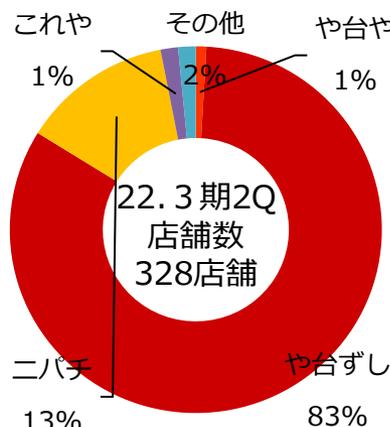


や台や：3店舗 （のれん分け店1店舗含む）

お好み焼き鉄板焼き居酒屋



業態別店舗数



22.3期2Q
店舗数
328店舗

(注)フランチャイズ4店舗含む

これや：5店舗

大阪の味・串カツ居酒屋



その他：5店舗

せんと てっぱん

- 「や台ずし」にて**デリバリー・テイクアウト**を展開
Uber Eats、DiDi Food、出前館、food panda等、多様な展開を実施。

店舗を作る為に必要な全てを**包括的**に、しかも**低コスト**で提供

業界随一の機動力

スピーディーな
出店・業態転換

低コストの
出店

多様で柔軟な
業態開発

“困った！をよかった!!に”

- ・店舗の設計・施工管理を中心に、飲食店や事務所等の建装事業を展開しております。
- ・グループ企業である株式会社ヨシックスフーズの店舗において多数の設計・施工管理実績を有しています。
- ・グループ外の企業からも積極的に受注しております。

<施工例>



当社の歩み



80年…ヨシオカ建装を創業、建装事業を開始

83年…ヨシオカ建装を設立

85年…テンガロンキッド設立
同年…ベストフードに社名変更

90年…ヨシックスに社名変更

98年…や台や1号店(名古屋市押切店)

00年…や台ずし1号店(名古屋市葵店)

02年…関東進出(や台ずし立川錦町店)

04年…関西進出(や台ずし寺田町店)

07年…九州進出(や台ずし夜店公園町)

09年…二パチ1号店(埼玉県)

12年…中・四国進出(や台ずし銀山町)

14年…東証ジャスダックに株式上場

15年…東証二部に市場変更

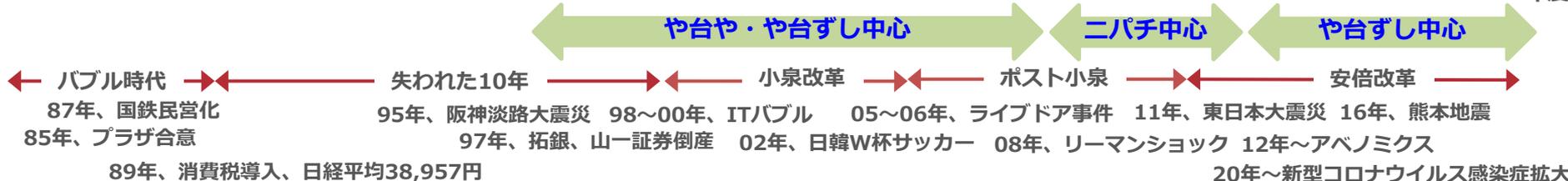
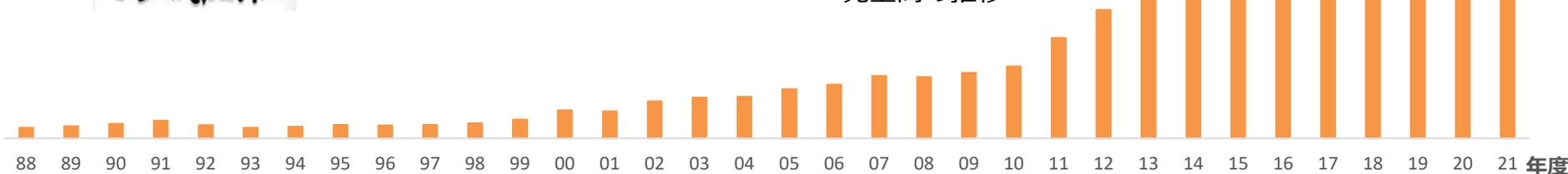
16年…東証一部に指定替え

21年…ホールディングス体制へ移行(会社分割)

21年…ヨシックスキャピタル設立



売上高の推移



2022年3月期
第2四半期
連結決算概要

新型コロナウイルス感染症拡大による影響から、売上高が低迷

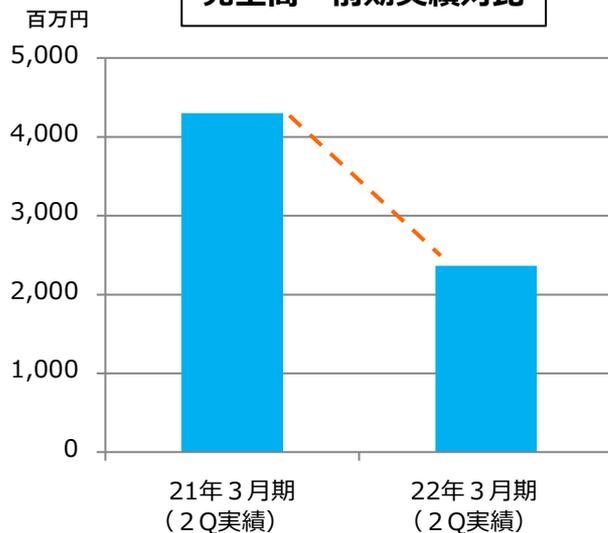
- ・ 4月以降も政府による「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が発令されたことにとともに、長期間にわたり休業や時短営業を余儀なくされました。
- ・ 厳しい措置が取られる一方で、外食産業に対して要請に従うことを条件として、「新型コロナウイルス感染拡大防止協力金」が支給され、営業損失を補填することとなりました。

(単位：百万円)

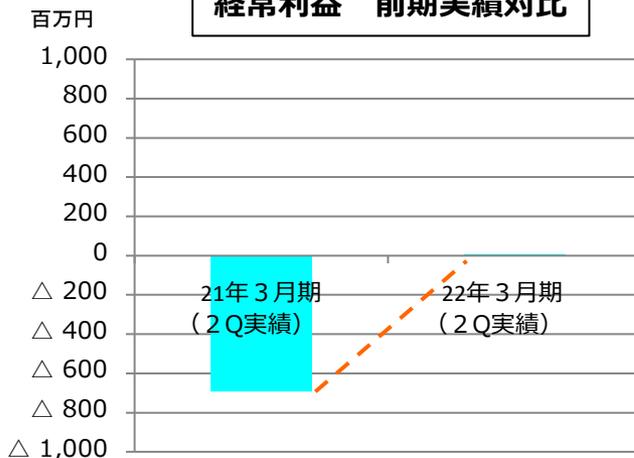
	21年3月期 第2Q実績 (売上比)	22年3月期			通期	
		第2Q実績 (売上比)	前期比		予想 (売上比)	予想進捗率 %
			差額	%		
売上高	4,303	2,365	△ 1,938	55.0%	—	—
営業利益	△ 1,278	△ 2,376	△ 1,098	—	—	—
経常利益	△ 692	7	699	—	—	—
当期純利益	△ 499	29	528	—	—	—
1株当たり純利益	△ 48.41円	2.85	51.26円	—	—	—

- (注) 1 2022年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。
- 2 2021年3月期より連結決算を実施しているため、2021年3月期第2四半期は参考として単体決算を記載しております。

売上高 前期実績対比



経常利益 前期実績対比



コメント

①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、政府から「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が発令され、休業や時短営業を余儀なくされました。

コメント

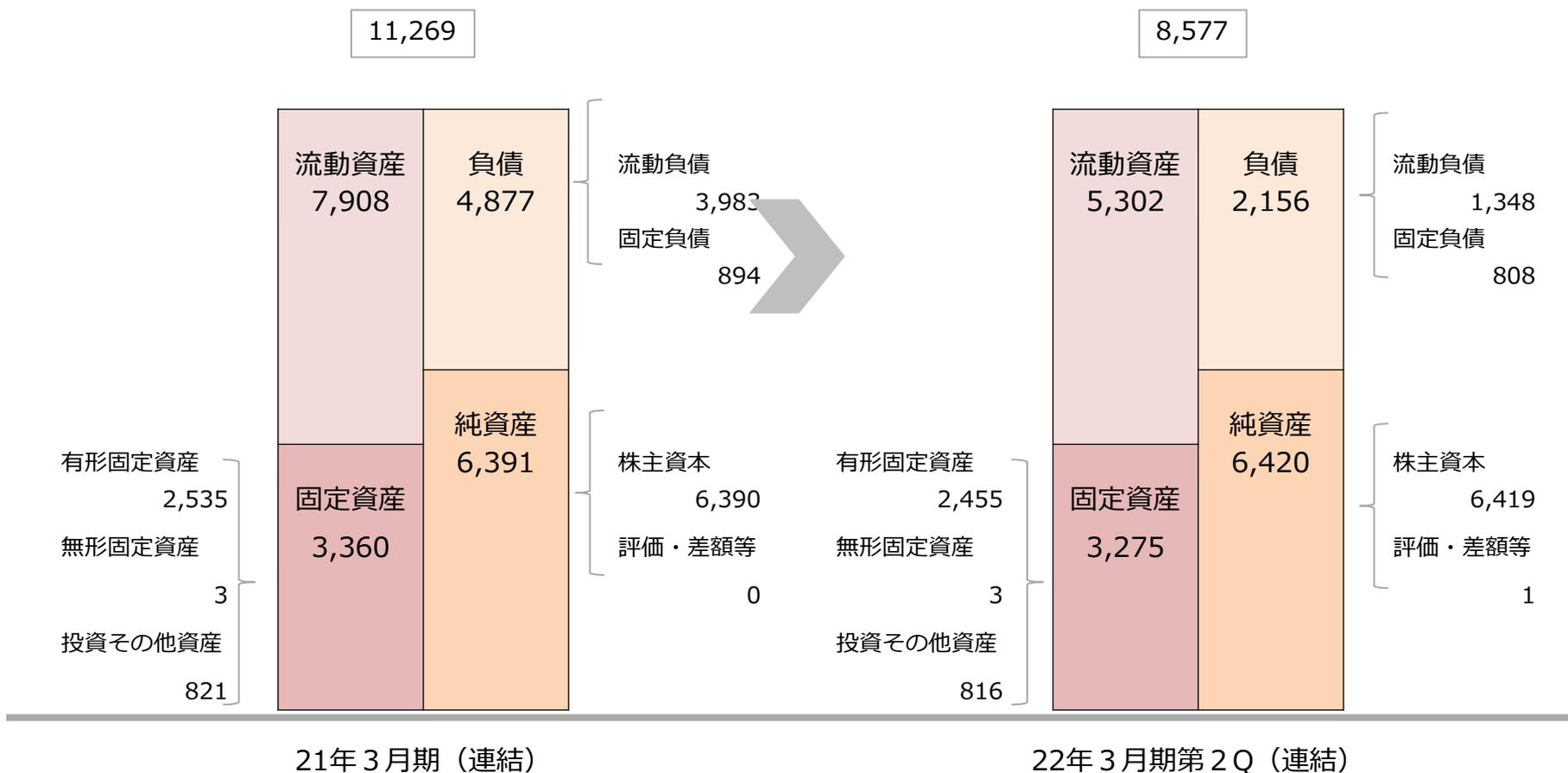
- ①店舗は休業や時短営業していたものの、社員・アルバイトの雇用維持のため休業補償による人件費が発生。
- ②地代家賃につき、一部協力を仰いだものの、削減には限界があり、固定費として発生。
- ③固定資産の減価償却費は休業に関係なく発生。
- ④休業中も人件費が発生していたものの、それに対する雇用調整助成金の申請をした。
- ⑤政府や自治体からの要請に従い、休業や時短営業を実施したことで協力金を申請した。

(注) 2021年3月期より連結決算を実施しているため、2021年3月期第2四半期は参考として単体決算を記載しております。

総資産合計が2,691百万円の減少

【流動資産】

- ▶ 納税等の支払いにより現金及び預金を支出したことで流動資産が減少した。

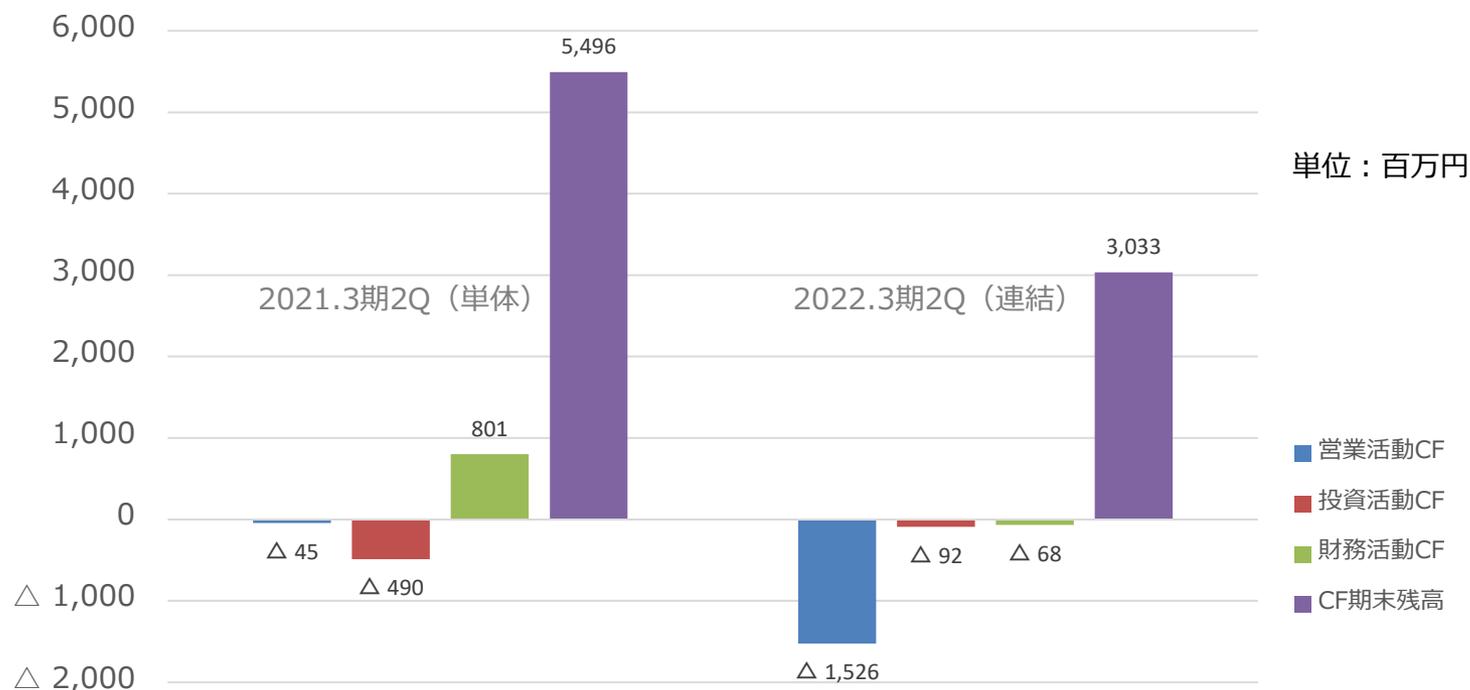


現金及び現金同等物の期末残高が511百万円減少

【営業活動CF】

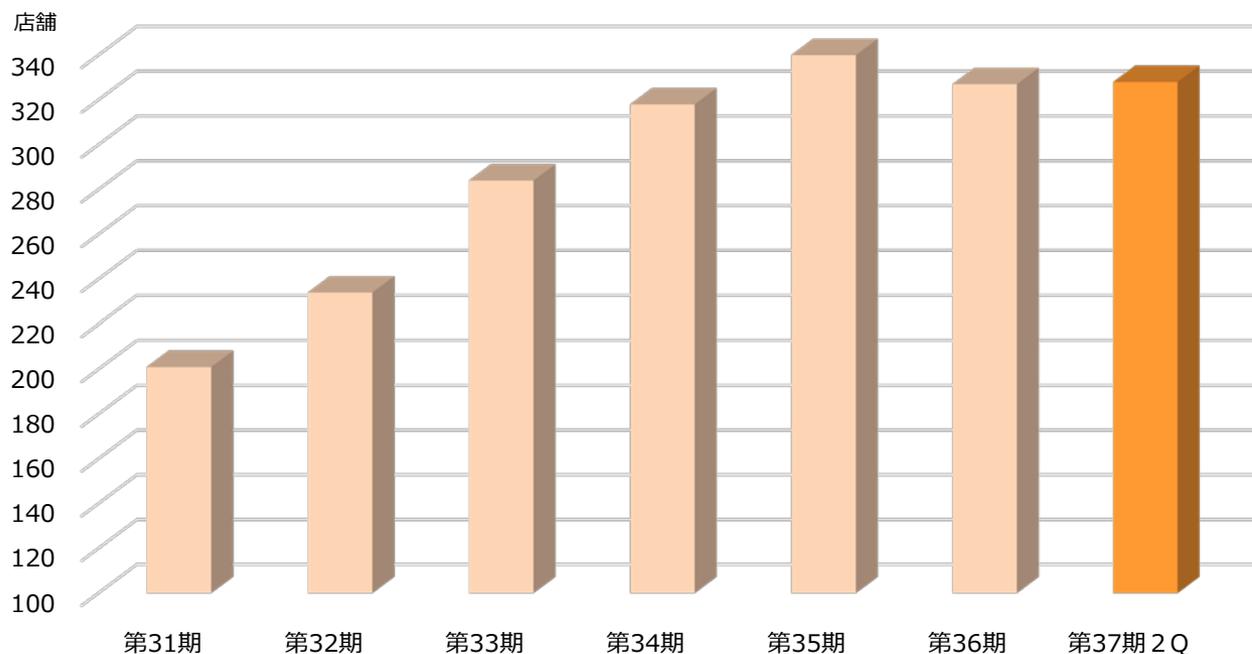
- ▶ 新型コロナウイルス感染症による政府・自治体からの要請を受けて休業や時短営業としたことから売上高が減少し、税引前当期純利益が減少したことから収入が減少した。

キャッシュ・フロー計算書



(注) 2021年3月期より連結決算を実施しているため、2021年3月期2Qは参考として単体決算を記載しております。

店舗数の推移



コメント

新規出店3店舗を実施 「や台ずし」 3店舗

- ・ 閉店撤退2店舗を実施
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、再開後も売上が見込めない店舗につき、人材の効率的な活用のため、業績下位の店舗を閉店
- ・ 新規出店は今後の情勢を鑑みて継続していく予定

第31期	第32期	第33期	第34期	第35期	第36期	第37期 2Q
201店	234店	284店	318店	343店	327店	328店

店舗名（仮称含む）	住所	オープン予定日
や台ずし向洋駅前町	広島県安芸郡府中町青崎南仮換地街区番号17	2021/11/30
や台ずし焼津駅南口町	静岡県焼津市栄町1丁目2-11	2021/12/9
や台ずし草薙駅前町	静岡市清水区草薙1丁目8-16	2022/1/6
や台ずし霞ヶ関駅南口町	埼玉県川越市霞ヶ関東1-3-15	2022/1/下旬

（注）物件契約済の案件を列举しております。

2022年3月期の業績予想につきましては、未定としております。

【業績予想を未定とした理由】

①新型コロナウイルス感染症の影響

- ・4月以降も「緊急事態宣言」「まん延防止等重点措置」が実施され、政府・自治体から休業要請・営業時間短縮での営業を要請されたことで、通常営業が実施できないことから、先行き不透明感が高いため。

②「緊急事態宣言」「まん延防止等重点措置」の期間延長の可能性

- ・新型コロナウイルスの感染拡大はまだ予断を許さない状況にあり、「緊急事態宣言」の更なる期間延長の可能性が高く、その際には直営店の休業・営業時間の短縮を延長する可能性が高いため。

③新型コロナウイルス感染症の収束が見えない

- ・新型コロナウイルス感染症の収束が不明であり、変異種の広まりも見受けられる中、売上・利益の合理的な見積りができないため。

④通常の日常に戻るか否か先行き不透明

- ・新型コロナウイルス感染症が収束したとしても、通常の日常に戻るか否かが不明であり合理的な見積りができないため。

ヨシックスグループ 今後の取り組み

わたくし達は、

3,000店舗、売上高1,800億円、

日本一の居酒屋チェーンを目指します！

【中期経営目標】

- ・ 500店舗
- ・ 売上高300億円

- ・ 事業部の確立
- ・ 「田舎戦略」、「老舗理論」及び「地域リスクヘッジ」の徹底
- ・ 既存店売上高を100%維持

- ・ 経常利益率10%超

- ・ 売上高家賃比率の7%台を維持
- ・ かけるコストを徹底し、かかるコストは削減
- ・ グループ建装企業の有効活用

「田舎戦略」とは

- **年間を通して一定以上の安定的な居酒屋需要が見込める地域に**
 - 東海道、山陽、九州新幹線に隣接する市町村
 - 乗降客6千人以上の駅前かつ、**従業員の雇用が可能**な地域
 - 直営店を出店
- 「老舗理論」にもとづく30~40坪程度の中小型直営店舗を低コスト出店し
- 地元店、チェーン店と競合せずに地域一番店を目指す戦略



事業活動を通じ、**地域の発展・再生**にも貢献

- 大企業と個人店の**良いところ取り**をするとともに、
- 両者と競合しない隙間を突き、**地域一番店**へ

地域密着の安定的な利益

地元個人店・小型店の優位性

- 居心地の良さの演出
- 店舗で手作りする美味しさと暖かさ
- 客席が埋まりやすい中小型の店舗
- 現地雇用、現地調達

~~個店経営、家族経営~~
~~曖昧な価格設定、付け払い~~

効率性と規模の利益

チェーン店・大型店の優位性

- 気軽に来店できる明朗会計
- 大企業の持つシステム統制
- 教育制度

~~セントラルキッチン~~
~~マニュアル接客~~
~~店舗夫型化~~



地域に賑わいを取り戻す

他社

・他社は高い家賃比率を賄うために、原価を徹底的に抑制する



・他社は家賃が高いエリアに大規模店を出店している場合が多く、固定費たる家賃比率が10%を超過

10%超



集客力が弱まり、坪当たり売上が低下することで効率的な利益の獲得ができない

低利益率

売上高
売上原価

売上総利益

地代家賃

販管費

営業利益

当社

・当社は家賃比率を抑制した分を原価にコストをかけて良い商材を使い、お値打ち感を高めている



・当社は戦略的に1.5等地、2等地に中小規模店を出店し、固定費たる家賃比率を7%台に抑制

7%台



顧客満足度の高い料理を提供し集客することで、坪当たり売上が高め、効率的に利益を獲得している

高利益率

■田舎戦略の潜在市場規模は**2,784億円**

潜在市場規模（当社調べ）

2021年9月末現在

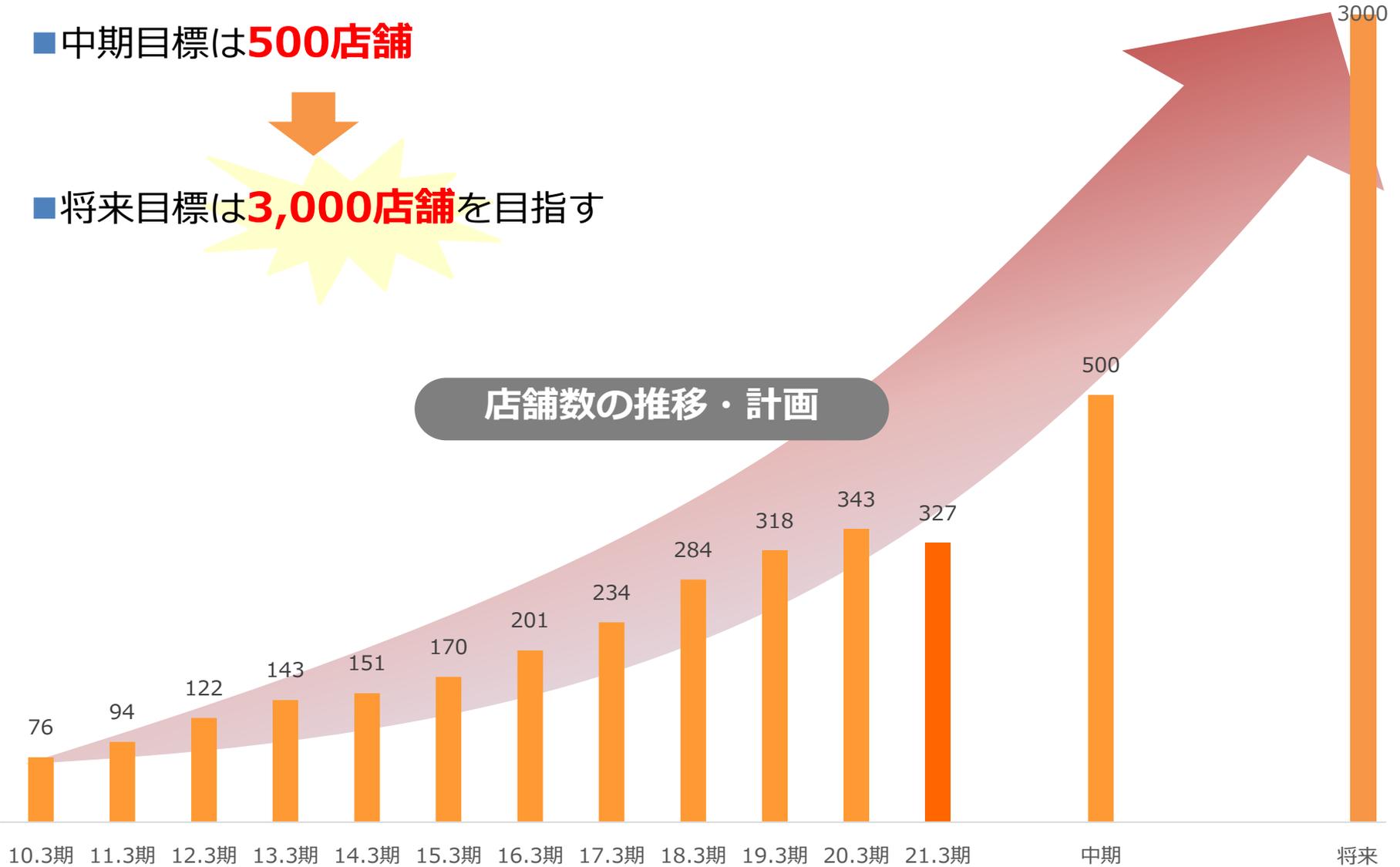
	関東			中部	関西		中・四国	九州	合計
乗降客約6千人以上の駅数	1,405駅			210駅	709駅		64駅	123駅	2,511駅
①出店可能店舗数	3,025店			288店	1,101店		75店	149店	4,638店
②平均年間売上高	6,000万円								
想定最大売上高（=①×②）	1,815億円			173億円	661億円		45億円	90億円	2,784億円
③2022年3月期2Q店舗数	114店			51店	79店		22店	62店	328店
出店余地（=①-③）	2,911店			237店	1,024店		53店	87店	4,312店
500店舗構想（事業部別）	関東第一	関東第二	関東静岡	中部	関西第一	関西第二	中・四国	九州	合計
今後の出店計画									172店
500店構想店舗計画	50店	90店	25店	75店	80店	45店	50店	85店	500店
500店構想売上高目標	30億円	54億円	15億円	45億円	48億円	27億円	30億円	51億円	300億円

■中期目標は**500店舗**



■将来目標は**3,000店舗**を目指す

店舗数の推移・計画



21.3期
新規出店 13店舗

22.3期
新規出店 未定

関東事業本部

- ▶ 関東第一事業部
- ▶ 関東第二事業部
- ▶ 関東静岡事業部

▶ 中部事業部

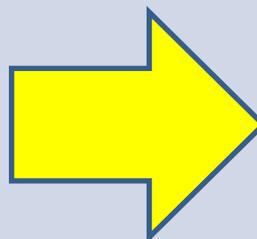
関西事業本部

- ▶ 関西第一事業部
 - ・ 関西三重事業課
- ▶ 関西第二事業部
 - ・ 関西第三事業課

▶ 山陽事業部

- ▶ 九州第一事業部
 - ・ 九州第二事業課

事業本部の拡充
による体制強化
(2021年5月1日付)



3事業本部体制

東日本事業本部

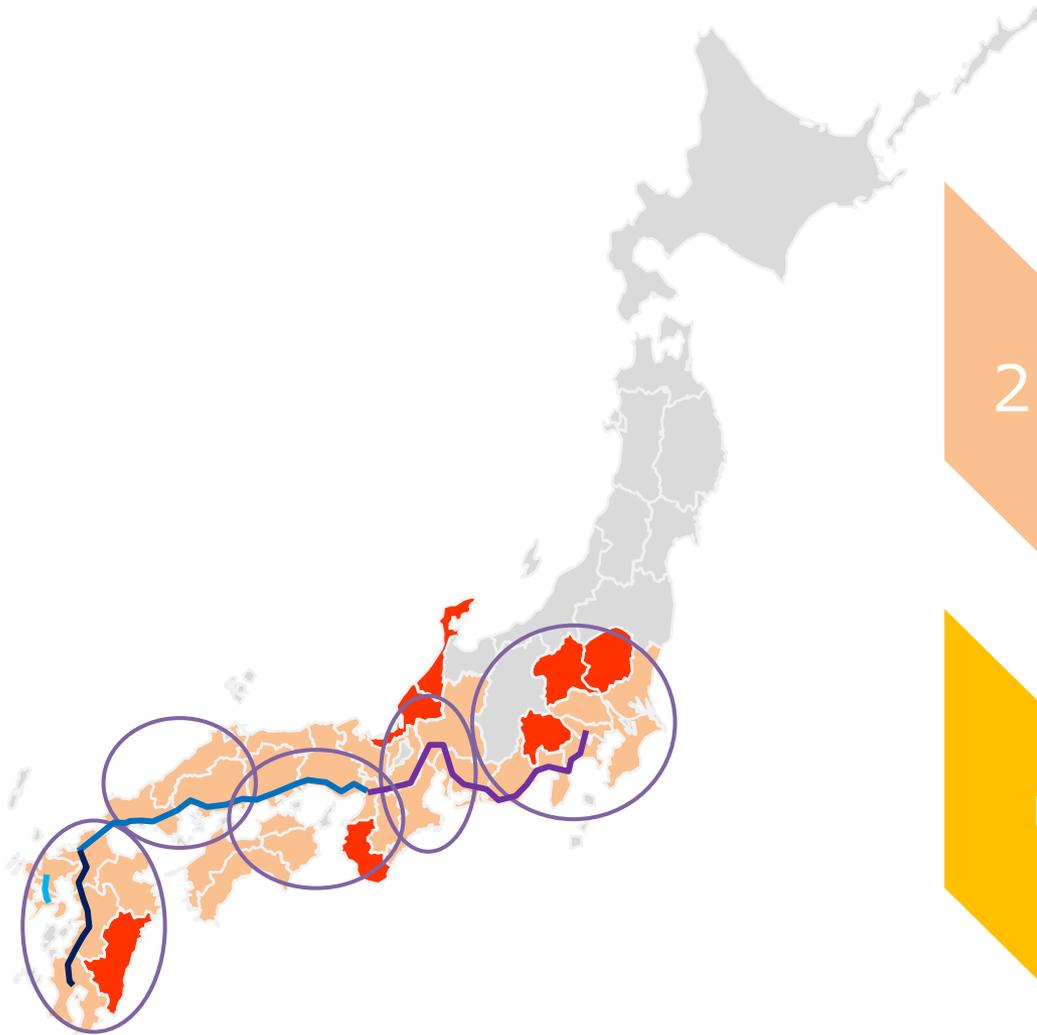
- ▶ 関東第一事業部
- ▶ 関東第二事業部
- ▶ 関東静岡事業部

中日本事業本部

- ▶ 中部事業部

西日本事業本部

- ▶ 関西事業部
- ▶ 山陽事業部
- ▶ 九州事業部



21.3期

- 関東事業本部 114店舗
- 中部事業部 52店舗
- 関西事業本部 77店舗
- 山陽事業部 22店舗
- 九州事業部 62店舗

中期

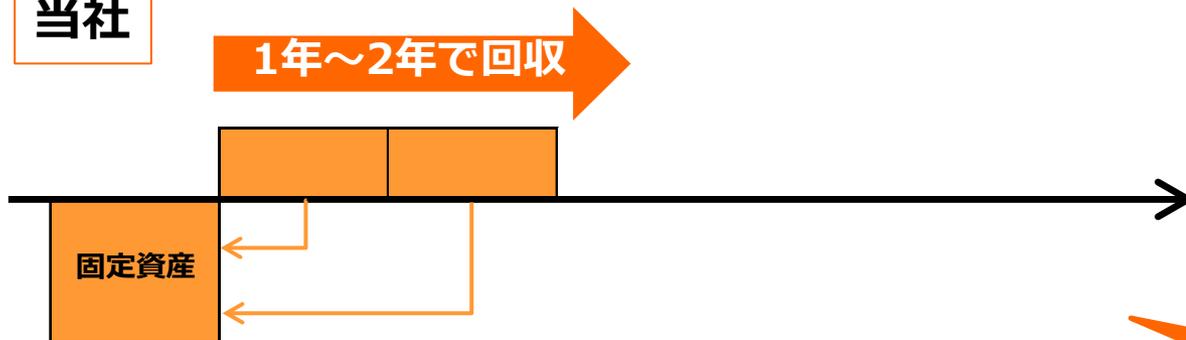
- 東日本事業本部 165店舗
- 中日本事業本部 75店舗
- 西日本事業本部 260店舗

- **地域バランス**を重視した出店エリアの拡大
- **主力業態の強化、新業態の開発**

(注) ■ は今後展開予定の地域となります(栃木県・群馬県・山梨県・石川県・福井県・和歌山県・宮崎県)。

当社

1年~2年で回収



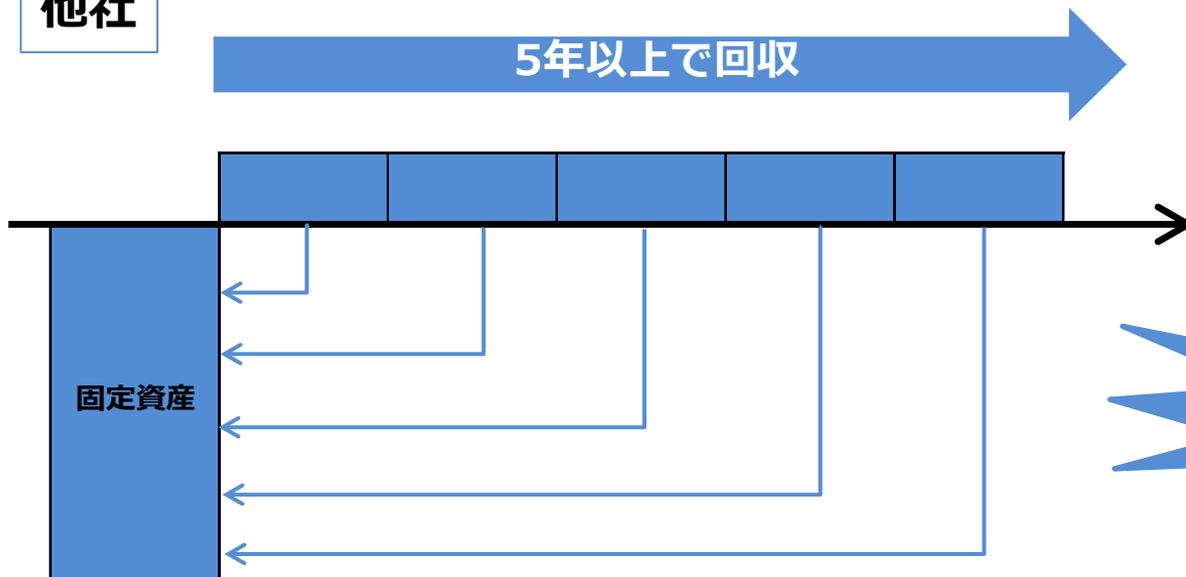
グループ建装企業の有効活用

- ・低コストで出店するノウハウを有しており短期間での投資回収を可能にしている

新規出店・撤退の判断を早くできる

他社

5年以上で回収



外部建築業者に発注

- ・外部業者に建築を発注するため投資コストが割高になり投資回収に時間を要する

新規出店・撤退の判断が遅くなる

第37期スローガン

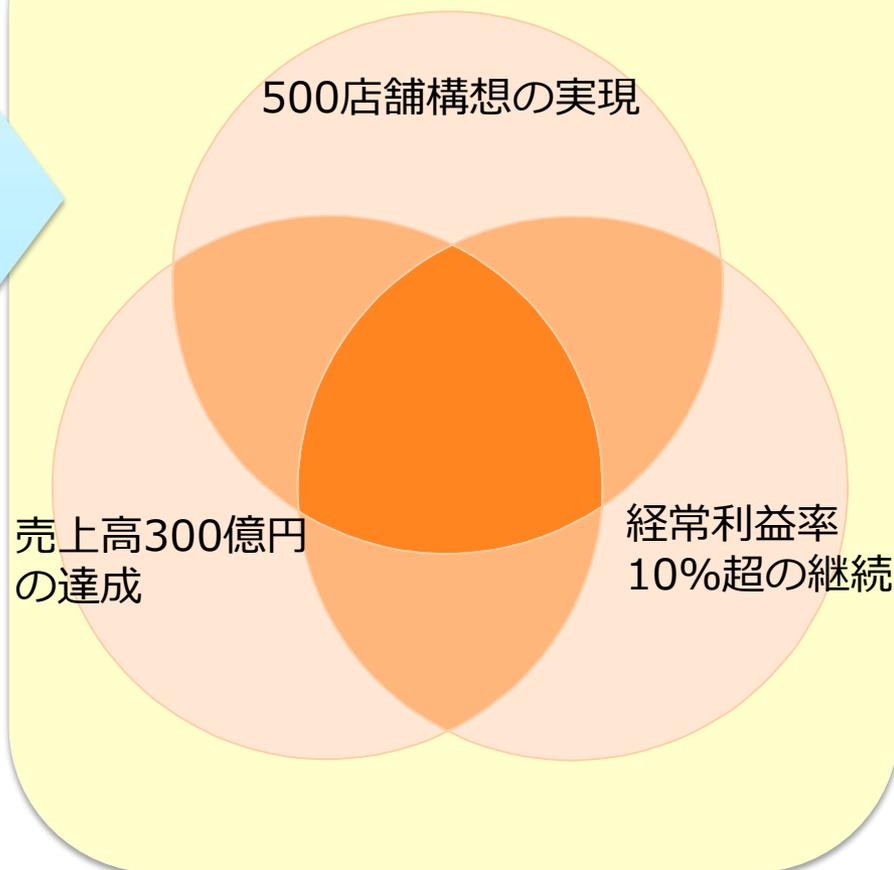
チェンジ・チャンス・チャレンジ

～踏み出す一歩が、未来を創る～

1. 「売り」へのこだわり
2. 「あたりまえや」の再認識
3. QSCの徹底、向上
4. 人材共育
5. さらに強い組織作り
6. 出店戦略

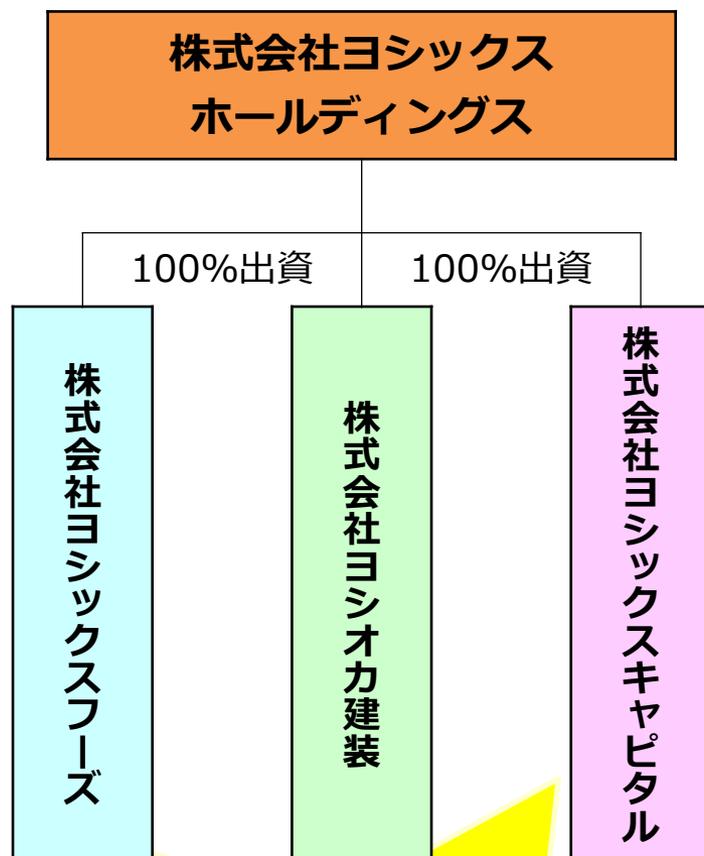


ヨシックスグループの中期目標



第37期
利益計画・出店計画（未定）の達成

持続的な成長を続けていくために、グループ経営体制を強化していきます。



株式会社ヨシックスホールディングス

- グループ戦略の企画・立案
- グループ会社の経営指導・管理
- 新事業への進出・創出
- 新会社の設立・M&Aによるグループ拡大

株式会社ヨシックスフーズ

- や台ずしを中心とした飲食店の運営
- 飲食事業の企画・立案
- 新業態の開発

株式会社ヨシオカ建装

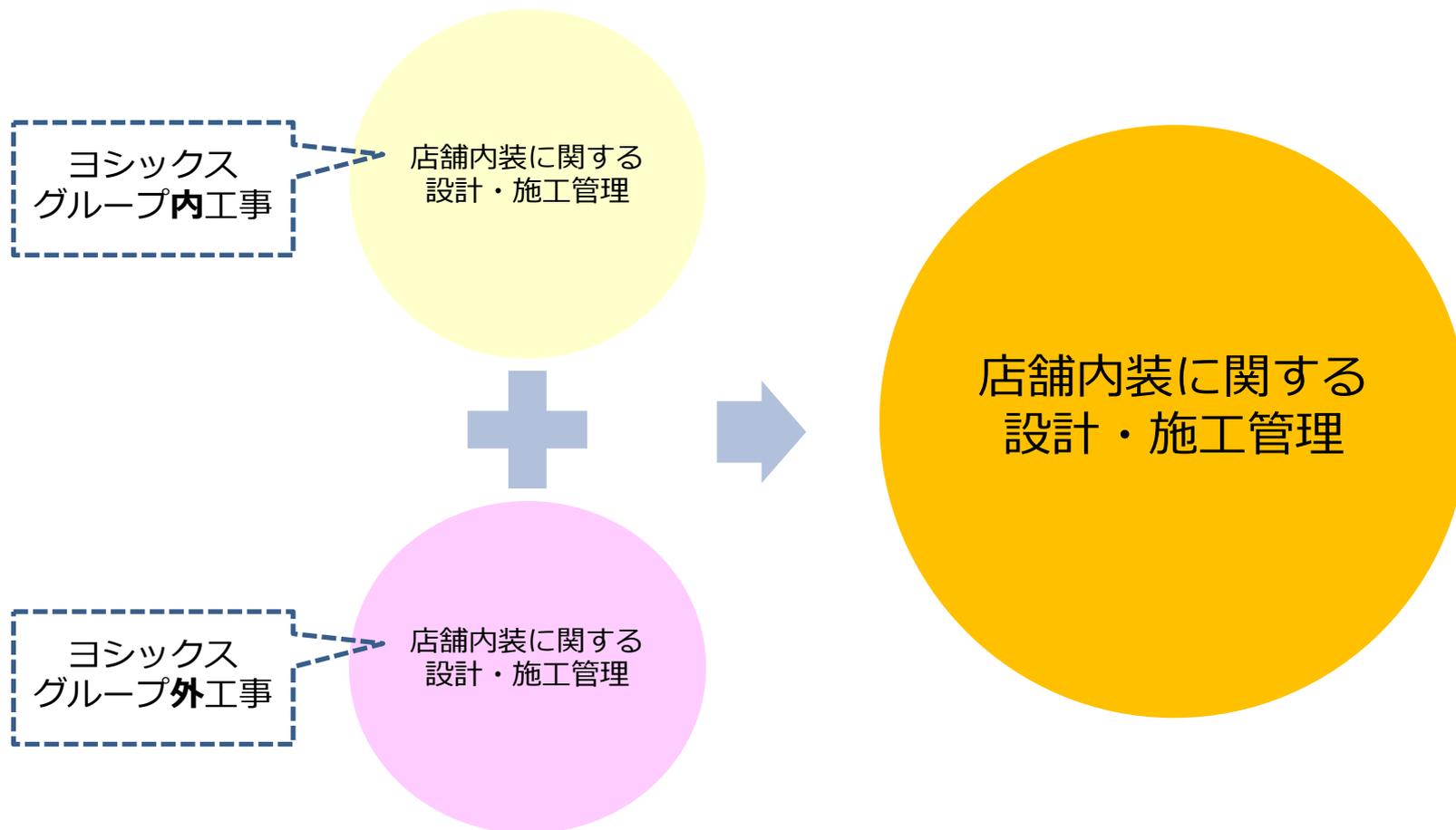
- 内装建築に関する設計・施工管理
- 建装事業の企画・立案

株式会社ヨシックスキャピタル

- CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）
- M&A仲介

グループ経営により
拡大を目指していく

2021年10月29日付で首都圏を含む関東地区に地盤を持つ店舗内装会社をM&Aしました。当該会社のM&Aを実施したことで、これまでのグループ内での建装事業のみでなく、グループ外顧客との取引も強化されるとともに、飲食チェーンとしての当社の特色である「スピーディーかつ低コストの出店」を首都圏エリアにおいても一層レベルアップさせることが可能となり、グループ全体の価値向上に寄与するものと考えます。



トピックス

雑誌に掲載されました。

週刊ダイヤモンド 2020年1/11号

外食王ランキング **第4位**

週刊ダイヤモンド 2020年2/1号

会計&ファイナンス

・ROEランキング 第91位

(外食企業では**第1位**)

・資金繰りに余裕がある60社ランキング 第33位

(外食企業では**第3位**)

知って得する株主優待2022年版



(発行/野村インベスター・リレーションズ株式会社)

【ご注意事項】

本資料に記載された株式会社ヨシックスホールディングスの計画・予想・戦略などのうち、歴史的な事実でないものは、資料作成時点に入手可能な情報及び経営者の判断に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。実際の業績は、経済動向、市場環境等によりこれらの計画、予想数値と大きく異なる場合がございます。

内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

また本資料は株主、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

【お問合せ先】

株式会社ヨシックスホールディングス
経営企画室

TEL : 052-932-8431 FAX : 052-932-8433

〒461-0025 名古屋市東区徳川1丁目9番30号

URL : <https://yossix.co.jp/>